

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団

1 基本方針

調布市社会福祉事業団は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図る。

経営理念・経営方針を全職員が共有し、法人経営の両輪である障害福祉事業及び子育て支援事業に取り組み、地域福祉の推進に努める。

2 法人の現状と課題

国内経済の状況については、米中両国による貿易問題をはじめとした外的要因により不安定化しつつあるが、民間企業の企業活動は順調に推移している。今後の動向については、世界的な経済の不確実性の増大や、政治状況の変化があり予断を許さない状況にある。国では、引き続き障害福祉関係費の充実が図られ、少子化対策をはじめ児童虐待防止の取り組みが強化された。調布市においても福祉関連予算は増加し、一般会計予算の2分の1を超え高齢化社会対策と子育て支援の緊急課題に向けた対策及びまちづくりに関する施策が引き続き推進されている。

当法人においては、障害福祉と子育て支援を事業の両輪として位置づけ、長年培った信頼と技術を活かして地域にとって必要とされる法人となるため、これまでの課題の整理を行い、調布市と協力しながら、次期中長期計画の策定に取り組み、新たな計画に基づいた事業の推進に取り組む。

今年度は、9月にラグビーワールドカップ2019が開催されるほか、翌年には東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が武蔵野の森総合スポーツプラザ等で予定されている。周辺施設と共同して交通規制や防犯等の安全対策に取り組む。

また、地域における公益的な取り組みへの参加と法人独自の貢献の内容について検討を進める。

サービス提供体制を整えるためには、医療的ケアの拡充も視野に入れな

がら職員の専門性の向上と人材育成が必要であり、サービスを担う人財の確保も大きな課題となっている。すべての事業が安定的に実施できるような体制を整える。

3 重点項目

- (1) 法人設立20周年事業に取り組む。
- (2) 第3・4期中長期計画の策定を行う。
- (3) 障害者グループホームの開設をはじめとした中長期計画の推進。
- (4) 石原小学校地域学童クラブ（障害児学童）の受託に向け取り組む。
- (5) 地震等による大規模災害及びあらゆる事態を想定した防災対策の検討と備えの強化。
- (6) 職員一人ひとりが虐待防止に努め、利用者サービスの向上が図れるよう各施設での実施体制の推進。
- (7) 地域における公益的な取り組みへの参画。